

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2020 年 2 月 12 日

事業所名： わたあめ

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じたスペースを確保している多目的室、静養室など個別の対応ができる部屋も確保している	目的に合わせて個別活動が出来る広さがあると評価を得ている	活動目的や特性に合わせて、有効に個別支援出来るように活用していく
	2	職員の適切な配置	規定の職員以上を配置し、利用状況に合わせて対応している	様子を聞いても職員の数も多く、安心できると評価を得ている	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	特性や活動目的に合わせて、活動の部屋を分離するなど安全を確保している	スロープや、段差解消や、床に全面緩衝マットなどが設置され安全と感じると評価を得ている	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒、安全点検を行い、子ども達が活動しやすい空間の確保をしている	面談時や見学时に清潔できれいな空間で整理整頓されていると評価を得ている	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	定期的にミーティングを行い、職員間でPCDAサイクルの理解を深めている		今後も継続し、効果的な支援の質の向上を図っていく
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は実施していない		必要があれば第三者による意見を聞く機会を考えたい
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修用の図書や資料を活用し内部研修、自己研修を心掛けている。外部研修の案内を提示し職員の積極的な参加を確保出来るように努めている		今後も質の向上を図るため、研修機会を増やせるように努めたい
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的な保護者の方との面談を通じて課題を把握し、児発管、職員会議を経て支援計画書に反映するようにしている	定期的な面談などを通じて分析さうえで支援計画が作成されていると感じると評価を得ている。	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画での個別活動、集団での活動、特性踏まえての計画を作成している		今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	共通理解が出来るように具体的な支援内容を記載している		今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく

適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	作成した支援計画書を職員が理解し、適切に支援している	計画に沿い支援の提供が実施されている。	今後も職員それぞれが作成した支援計画を理解し継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員が話し合い、資料や経験をもとに活動プログラムを計画している	活動プログラムについては、保護者の方からの要望を取り入れながら更新出来るように努めている。利用者からも楽しいと評価されている	今後も活動プログラムを職員で話し合い支援の質の向上を図っていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学習支援や短時間で取り組み可能な活動を中心に行い、長期休暇時は外部への実習等を実施支援している		長期休暇などのゆったり取り組める療育の準備計画をしていく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	保護者の方や職員の意見を取り入れ、特性にあったプログラムを更新している		今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日の利用者について職員の取り組み、役割について支援の共有をしている		今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了時利用者について職員の取り組み、役割について支援の振り返りを行っている		今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の業務日誌を活用し、前日の活動や当日の活動の確認を全スタッフで共有している		今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリング期間を設け、実施し必要に応じて見直しをしている		おおむね6か月に一度以上のモニタリングを行い、客観的に評価を行い必要があれば支援計画の見直しを検討していく

関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	依頼があれば児童発達支援管理者が参加している		依頼があれば積極的に児童発達支援管理者が参加する
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象となる利用者の通所はない		
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象となる利用者の通所はない		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	対象となる事象があり、依頼があれば実施		依頼があれば積極的に児童発達支援管理者が連携していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	対象となる事象があれば情報提供を行っている		対象となる事象の対象者には必要に応じて情報提供は行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関の主催する研修会等に業務に支障がない範囲で参加を促しているがなかなか出来ていない		専門機関との連携や専門機関の研修に積極的に参加する機会を増やす
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状、活動する機会はないが地域交流は計画したい	保護者の方から希望の声は上がってはいない	保護者の方の意見を参考にしながら検討して行く
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	計画はしているが実施できていない	保護者の方から希望の声は上がってはいない	保護者の方や地域の交流のためのイベントの計画を立てるように検討していく

保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に沿い契約時に説明を行っている。保護者の方から相談等あれば必要に応じて対応している	契約時に丁寧な説明を頂いている	理解して頂けるように保護者の方に適宜説明し聞きやすい環境を整備する
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に説明し、送迎時等や難しい時は電話等を用いて行っている	丁寧に説明頂いていると感じる。	保護者の方には丁寧に説明をしていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在実施実績はありません	対応や接し方など子どもについてのわからない事が多いのでペアレント・トレーニングなど受けてみたいと言う声もある	必要に応じて実施を検討する
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に当日の様子をお伝えするとともに連絡帳で日常的に行っている	日頃からよく聞かせて頂いている	保護者の方に安心して話して頂けるように共通の理解を出来るように努めて行く
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	気になる事があったり、ご相談があれば電話連絡、面談などを通して積極的に対応している	不安な事や気になる事など助言頂いている	今後も継続して保護者の方から相談があれば積極的に対応できるようにする
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在のところ父母会、保護者会の開催予定はありません	保護者会の参加が難しい。保護者間連携を希望しないという意見が多数あり	保護者の方から要望があれば検討したい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に説明を行い、窓口を設置し担当者を専任し職員も含めて迅速に対応している	迅速に対応されている	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもや保護者の方と信頼関係を築き、それぞれの特性に応じて対応している。	よく理解されるように努めていると感じる。	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ブログや毎月の行事予定や個別のプリントなどで発信している	予定表や毎月の個別プリントなどを通じて分かりやすいと感じる	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては職員全員遵守することを誓約し、重要書類は鍵付きの書庫で管理し休日夜間等も警備会社に委託している	十分な配慮がなされていると感じる	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく。

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し職員への周知徹底を行っている	感染症に対する対応についての手紙などを頂くので周知されていると感じる	今後も継続できるようにし、支援の質の向上を図っていく
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	現在マニュアルを作成中、作成次第必要な訓練を実施する	分からないとの回答が多くあった	作成し実施できるように速やかに実施する
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待についてはいかなる場面でも行わない事を虐待防止マニュアルに基づき職員に研修している		虐待については今後も継続して虐待は絶対にしないように徹底する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在のところ必要とする利用者の方はおられません		原則、身体拘束は行わない
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者の方からの聞き取りを実施し必要に応じて実施している		情報を共有し継続して対応をしていく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例を職員間で共有し周知徹底できるように日々話している		今後も維持出来るように努めたい